

現場の紹介

指定管理者制度への移行後も、市民の命と健康を守るために市立川西病院で働くスタッフ。それぞれの現場で働く看護師が、市立川西病院の特徴を紹介します



地域包括ケア病棟 師長
福田 里子

地域包括ケア病棟は、治療が終わり病状が安定した患者さんや、すぐに退院することに不安のある患者さんための病棟です。

昨年の11月に新設され、在宅や介護施設への復帰に向けた医療や支援を行っています。在宅介護をしているご家族の休息時間をつくるために、短期間のレスパイト入院もできます。

病棟はとても明るい雰囲気、患者さん同士で交流できるイベントなども企画しています。医師や看護師、リハビリスタッフ、社会福祉士などが協力しサポートするので、地域に戻るまでの準備期間として穏やかに過ごしてもらえそうです。



皮膚排泄ケア特定認定看護師
渡邊 紀子

院内での褥瘡（床ずれ）の予防やストーマの管理、排せつケアを専門に行っています。

特定認定看護師というのは、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を持つと認定された看護師のことです。水準の高い看護を実践するだけでなく、スタッフへの指導などを行い、病院全体でのケアの質の向上に努めています。

市立川西病院には診療看護師や専門看護師、認定看護師などが多数在籍していますので、安心して治療を受けてもらえます。いずれは病院の中だけにとどまらず、地域での訪問看護などにも役立てたいです。



患者サポートセンター 師長
古家 里美

患者サポートセンターは、地域の医院などからの紹介や入退院の調整など、切れ目なく支援するために今年4月に開設しました。

患者さんやご家族の思いを治療に生かすために、入院前には時間をかけてゆっくりと話を聞くようにしています。ケアマネジャーやソーシャルワーカーなど他職種とも連携を取り、患者さんに最善の形で地域に戻ってもらえるように支援します。退院後も個別訪問し、患者さんの状態を確認するようにしています。

住み慣れたまちでいつまでも暮らしてもらえるように、今後も地域と連携してサポートしていきます。

INTERVIEW

市立川西病院について考える市民モニター制度。参加する加門文男さんに、今の病院について感じていることを聞きました



市立川西病院市民モニター
加門 文男さん

北陵コミュニティ協議会会長。長年地域に住み、地域課題の解決に積極的に取り組む

実際に病院を見て、印象が変わりました

実は、川西病院に良い印象を持っていなかったんです。一時的な診療科目の縮小や建物が古くなっていくことから、どうしても暗いイメージがありました。

先日、市民モニターとして、川西病院を見学した時にまず感じたのは、スタッフが前向きだということ。指定管理が始まっていますが、皆さんテキパキと仕事をしていました。きれいな緩和ケア病棟や、在宅介護が少しづつなくなった時に利

用できる地域包括ケア病棟など、印象が変わりましたね。研修生を積極的に受け入れるなど、医療を担う人材の育成に力を入れているのも印象的でした。

3年後に市の中心部にできる「キセラ川西センター」と今の場所にできる「北部診療所」が連携して、市内で医療を完結できる仕組みを作ること。地域の子育て世帯や高齢者にとっても、それが何よりの安心につながると思います。

これまでと変わらず 安全安心な医療を提供

4月から指定管理者の(医)協和会による管理運営がスタート。地域医療を守るため、課題と向き合いながら新しい体制での市立川西病院が動き出しています

診療科目数は10科目を維持

市立川西病院では、安定的な病院運営を行うため、民間のノウハウを活用した指定管理者制度による運営を4月から開始しました。診療科においては、平成30年度と同水準を維持してスタートしています(4ページ参照)。

一方、想定以上の看護師が退職したことにより、それまで稼働していた234床のうち、4階北病棟(43床)を5月から一時的に休止する措置をとりました。併せて、看護体制も、最も高い看護基準レベルである患者7人に対して

看護師1人から、10人に対して1人に変更しています。

市民の皆さまにご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。

現段階では、救急の受け入れや入院患者の治療などに大きな影響がない範囲での変更となっていますが、あくまでも一時的な措置であり、一日も早い体制の回復に努めてまいります。

開設者としての市の役割

市では指定管理者による病院運営をサポートし、医師の確保や看護体制の維持に対して引き続き協力し、地域医療

の提供に対する責任を果たしてまいります。

また、市民にとって信頼できる市民病院となるよう新たな体制もスタートしました。

まずは、指定管理者による業務のモニタリングを毎月実施します。基本協定書に定めた運営を図っているのか、病院経営の責任者としてチェックをします。

次に、利用者の目線で病院運営を評価するため、「市民モニター会議」を定期的開催します。地域の代表者などからご意見をいただき、その内容を病院運営に取り入れていきます。

さらに、医療関係者や公認会計士、社会保険労務士など、有識者で構成する「経営評価委員会」を設置し、外部の専門家の視点で、医療との質と



経営の安定性の両面から評価いたします。

公立病院としての使命

市立川西病院の運営は、民間の運営へと変わりましたが、不採算部門である救急医療や小児医療などについては、指定管理料として医療法

人へお支払いをしており、市立川西病院が公立病院としての使命を果たしていく姿勢は変わりません。

引き続き、市と指定管理者が連携して地域医療の充実に取り組んでまいりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

外来診療表

令和元年7月1日時点

□ 受け付け時間 午前8時半—11時半(下記除く)

※1 外科(乳腺外来)…午後2時半まで(要事前確認)／※2 脳神経外科…午前11時まで／

※3 整形外科(水曜日)…午前10時半まで／※4 整形外科(リハビリ診)…午前10時まで

／※5 耳鼻いんこう科…午前10時半まで／※6 眼科(火曜日)…午前11時まで

脳神経外科と耳鼻いんこう科、眼科は人数制限があります。☎…要予約

科目	時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科	午前	糖尿病・内分泌内科 稲田☎ 神経内科 村田☎ 一般 野崎 堅田 高橋	糖尿病・内分泌内科 古賀☎ 循環器内科 中川☎ ペースメーカー 西良☎ 一般 厨子 中村 大野	消化器内科 西林☎ 呼吸器 倉堀☎ 一般・血液 竹本 一般 上田 世良	循環器内科 野崎☎ 消化器内科 厨子 糖尿病・内分泌内科 稲田☎ 一般・血液 土居 一般 中川 石津	循環器内科 野崎☎ 消化器内科 肝胆脾 亀山 一般 厨子 西林 西良 大野
	午後			ピロリ菌外来 西林☎ 人間ドック 姫野☎ 一般 大野☎	循環器内科 中川☎ 糖尿病・内分泌内科 上田☎ 人間ドック 堅田☎ 肝臓外来☎	睡眠時無呼吸外来 中川☎ 糖尿病・内分泌内科 中村☎
外科 (乳腺センター)	午前	中口 元木	向坂 松下	中口 予約診察	土居 秋山	向坂 ストーマ外来
	午後	乳腺外来(※1) 中口 一般 元木☎	乳腺外来(※1) 土居	乳腺外来(※1) 中口	乳腺外来(※1) 土居	
緩和ケア外科	午前			初診外来☎	再診外来☎	初診外来☎
脳神経外科	午前	本郷(※2)			高崎(※2)	
整形外科	午前	澤井 リハビリ診(※4)	堀 大浦 リハビリ診(※4)	楠山(※3) リハビリ診(※4)	西川 リハビリ診(※4)	大浦 交替診察 リハビリ診(※4)
	午後				多田☎	
小児科	午前	藤田 谷本	大幡 予約診察	芝田 予約診察	村松 予約診察	藤田 交替診察
	午後	発達外来 藤田☎	乳児健診☎	予防接種☎	神経・内分泌外来 藤田☎	アレルギー外来 村松☎・藤田☎
産婦人科	午前	初診・婦人科 藤井 産科 縣(7カ7)	初診・婦人科 原田 産科 藤井	初診・婦人科 原田 産科 縣(7カ7)	初診・婦人科 藤井 産科 原田	産科・婦人科 縣(7カ7)
	午後	交替診察☎	助産師外来☎ 交替診察☎	2週間健診☎	助産師外来☎ 交替診察☎	
耳鼻いんこう科	午前	原田(※5)	伊藤(※5)	北村(※5)	大畠(※5)	江口(※5)
眼科	午前	大川	生島(※6)		大川	大川
泌尿器科	午前	梶川	岡田	梶川	梶川	谷口
	午後				予約検査☎	ストーマ外来(第1週)☎

健康診断…受け付けは午前8時—10時。曜日によって実施できない検査項目があります。事前に確認をお願いします。

問い合わせ

▶市立川西病院 (東畦野5-21-1) ☎(794)2321
▶病院改革推進課 ☎(740)1136

市立川西病院
ホームページ

